

大好き! ふくしま



生産者のこだわりや苦労などの思いに直接触れ、より多くの人に国見町の農産物の良さを伝えたいと思ったという岡野さん。



事前に届けた果物を食べながら、生産者の声を聞くオンライン試食会を開催。

人とのつながりを大切に 出会いの場をたくさんつくりたい

社会人経験を経て、一から何かコンテンツづくりをしてみたいと思ったことが、地域おこし協力隊への参加のきっかけだったという岡野さん。現在は「桃の木オーナー制度」や移住体験の企画運営のほか、オンライン試食会を開催するなど、積極的に関係人口の創出と拡大に取り組んでいます。

「国見町は人が温かく、お米や果物がとてもおいしいのが魅力」と話す岡野さん。都心から地方へ移住し、今まで必要だと思っていたものが無くても楽しめることを実感し、充実した日々を過ごしていると言います。「今後も、生産者やまちの人たちとのつながりを大切にしながら、今手掛けているプログラムをより魅力あるものに仕上げ、国見町に関心を持つ人を増やしていきたい」とやる気に満ちあふれていました。



手掛けたプロジェクトではさまざまな人とのつながりが生まれました。



顔が見える関係を
これからも築いて
いきたい!

国見町
地域おこし協力隊
おかのきほる
岡野 希春さん
(神奈川県出身)



県内でも規模が大きく高機能なライスセンターでした。

昨年4月に完成した飯館村ライスセンターを訪問しました。この施設には、カメムシなどの影響があった米を取り除く機能が備えられており、農家の皆さんが丹精を込めて育て上げたお米を、これまで以上に高い品質で販売につなげることが出来ます。農家の皆さんの意欲を向上させ、避難地域の農業再生をけん引する、すばらしい拠点になることを期待しています。

避難地域の営農再開拠点「飯館村ライスセンター」を訪問しました。

知事の活動を伝えるコーナー

知事

だより vol.20